

おい図書館

No.195

発行 おい図書館
代表 青木 和子
TEL 047-311-0886
松本市牧の原1-10-4
104-416



いとまち情報創造館
武蔵野プレイス
見学記

武蔵野プレイスを訪ねて

小林真理

10月23日(月)に計画していた見学会は、台風の影響で27日(金)に延期された。参加者は8名。

武蔵野市の人口は約14万4千人(2016年8月1日現在)。市立図書館は、市内の吉祥寺・三鷹・武蔵境の3駅を中心とする3地域に1館ずつ配置されている。

武蔵野プレイスは武蔵境駅を降りて1分。とても便利な場所に在る。駅前の一等地であるにもかかわ

らず、地上4階(4階部分がセツトバックしているため、さしに低く3階建てのように見える)地下3階という高さを抑えたつく。建物の前には芝生を敷きつめた65坪ほどの境南ふれあい広場公園が広がり、視界の中で白い建物と周辺の緑と空の青が良い具合に調和する。

建物の四階は無料な直角ではなく、カーブを描いている。楕円形にくり抜かれた窓は目のうにも口のようにも見え、建物全体で「いらっしやい」「こん

にちは」と、来館者を暖かく迎えてくれる開放感がある。入り口を入ると、喫茶コーナーがあった。カチャカチャと食

器の触れ合う音、コーヒーの香り。従来の「図書館」のイメージを覆すような雰囲気。武蔵野プレイスが図書館だけでなく、「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」などの機能を持った複合施設だからだろうか。

図書館の雰囲気は良い。低くしつらえた書棚は上部に空間を生み、視線が通るため、図書館にありながら閉塞感が無い。廊下も無く、アーチ形にくり抜かれた壁を通り抜けて、各部屋を行き来する。曲面を活かした白い壁が作り出す空間は、まるで貝殻の中に居るかのよう。蛍光色ではなく、電球色の明かりを使っているため、オレンジ色の光が暖かく、どの部屋も居心地が良い。階下へと降りる階段は螺旋を描き、巻貝のように見えた。この設計が評価され、2016年には日本建築学会賞を受賞。「曲線」のコンセプトが建物の内外に

息づく。

武蔵野プレイスは、庭に面した書斎で本を広げているような、あるいはホテルのロビーのソファに座って読書しているような、そんな落ち着いた空間を提供してくれる、とても居心地の良い図書館でした。

ご案内くださった盛田さんに感謝申し上げます。

おしゃれでなくていい
ゆとりがほしい



武蔵野子

武蔵野プレイスは複合施設で、図書館の他に「公民館」「市民活動サポートセンター」「青少年会館」の機能がまとめられていました。建物は地下3階地上4階の「丸」を基調とした、とてもおしゃれな建物で、武蔵境駅から歩いて1分の交通の便の良い場所にありました。図書館としては良く考えられて

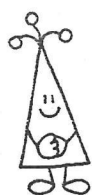
いて、青少年のスペースのそばにはアート系のもの、市民活動スペースにはその関係資料、1階のカフェの近くには雑誌を置いて、お茶を飲みながら読むことも出来ます。学習のためのコーナーも無料の所。有料の所があり、予約なしで使える場所も多くありました。椅子もあちらこちらに配置されていて、ゆとりでできるのがうらやましい限りです。

青少年センターのような機能を持つ所は地下2階にあり、青少年が関心を寄せるような音楽や絵画等アート関係の書籍を置いてあります。青少年の居場所スペースでは飲食が可能です。その際に出るごみの置き場の工夫に感心しました。ごみの分別が楽しくできるように、大きくカラフルな説明書きがあり、そこには幾つかの実物を貼って

て掲示してあるので、とても分かり易いし、押しつけがましくもないのです。松戸市でも参考にしたい。

ほしいと思いました。松戸市の図書館におしゃれなものはありませんが、せめてゆつくりと本を選んだり、子どもたちが本に親しめるスペースをつくってほしいとつくづく思いました。

しかし、黙っていても出来るはずがありませんから、声を大にして「ゆとりある図書館を」と言い続けましょう。



疑問が次々と...

神保子

武蔵境の駅を出て、間もなく見えてきた丸みを帯びた窓の建物。あれかな？という予感には当たっていました。中も丸みを帯びた構造と設備でした。

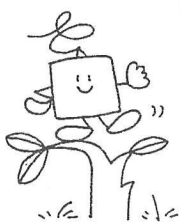
一番関心のあった青少年の居場所は、大切に運営されていて、小

学生から高校生と考える年令の子
までが思い思いに過ごしていました。
4つの機能(図書館、生涯学習
支援、市民活動支援、青少年活動
支援)が、隔絶しないで緩やかに
繋がれること、図書館の書棚は分
類法にこだわらず、利用者の関心
に合わせて本を並べていることな
ど、目を開かされることがいっぱ
いありました。しかし、帰宅して
パンフレットを見ながら、あれも
聞けばよかった、これはどうなん
だろう?と思うことしきりです。
思いつくままに挙げて、以下の
ようなことです。

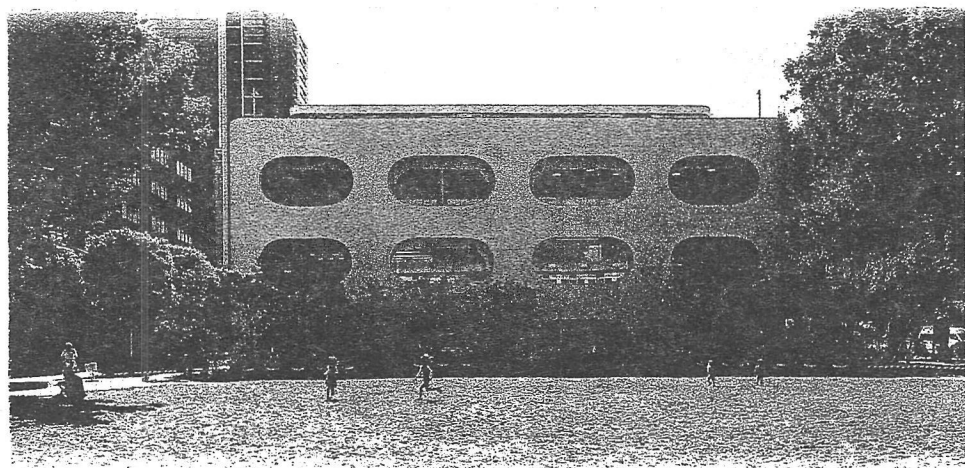
国有地の払い下げを要望してか
ら、基本計画ができるまでのリー
ダーシップは誰(どこ)がとった
のか、計画から設計までの段階で
市民はどう関わったのか、武蔵野
プレイス管理基本方針や管理運営
指針策定に市民はどう関わったの
か、青少年(子ども)の意見を聞

いたのか、などが知りたい。市
立の施設でありながら、公益財
団法人が指定管理者となって運
営することのメリットは?デメ
リットもあるのではないか?職
員のうち嘱託がとても多く(102
名中60名)、その方々の創意工
夫で施設が生き生きと活動して
いると説明を受けたが働く側
から見て、それで良いのだろうか
?などの疑問が残った。
忙しい合間を縫って丁寧に案
内してくださった盛田さんに
感謝申し上げます。

後記



以前訪ねた、完全直営の塩尻
の図書館と無意識に比べて見て
いました。何年後かに、塩尻と
武蔵野プレイスを再訪したいと
思いました。その頃、松戸の図書館
は……と夢見ています。



武蔵境駅を背にして、武蔵野
プレイスを望む
手前は境南ふれあい広場公園

武蔵野プレイス フloor構成

4F
ワークデスク
(周辺を緑に囲まれた緑止階)

3F
ワークラウンジ
(市民活動フロア)

2F
コミュニケーション
ライブラリー
(児童・生活関連図書フロア)

1F
パークラウンジ
(エントランスフロア)

B1F
メインライブラリー
(一般図書フロア)

B2F
ティーンズスタジオ
(芸術・美術・青少年向け図書フロア
青少年の居場所、創作活動の場)

B3F
駐車場

フォーラム

事務室

ギャラリー

カフェ 貸出・返却

検索コーナー

アート&ティーンズライブラリー
(芸術系、青少年向け図書)

回遊階段

ワーキングデスク

市民活動エリア
(ワークラウンジ、プリント工房)

スタディコーナー

こどもライブラリー
(おはなしのへや)
ティーンズライブラリー
(生活関連図書)

マガジンラウンジ

エントランスホール

メインライブラリー

オープンスタジオ、サウンドスタジオ
パフォーマンススタジオ、クラブスタジオ

駐車場

公園